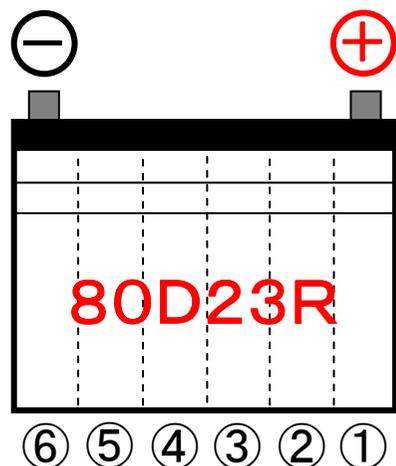


# バッテリー測定



エルグランド(E51)標準搭載バッテリー仕様

形式 80D23R

- ・性能ランク 80
- ・短側面の大きさ W170×H200mm
- ・長さ寸法 23cm
- ・端子の位置 上から見てプラス端子を手前にした時にプラス端子のある方向  
右にあればR、左にあればL

容量 55Ah(5時間率)

## 測定結果

端子間電圧 **12.36V** (12.5V以上)

電解液比重(1.250以上)→電圧換算

- ① **1.24** → **2.08V**
- ② **1.25** → **2.09V**
- ③ **1.23** → **2.07V**
- ④ **1.23** → **2.07V**
- ⑤ **1.23** → **2.07V**
- ⑥ **1.21** → **2.05V**

※放電終止電圧 1.75V(10.5V)

※各セルの比重差は、0.04以内

**要充電!**

## バッテリーの充電

バッテリーの充電には、普通充電と急速充電がありますが、基本は普通充電で行います。(急速充電では満充電にならず短命となる為)



### 注意！

バッテリーを充電する際、充電電流が各種バッテリーによって定められています。過電流で充電すると急速充電となり、バッテリーが過熱傾向になり、水素ガスも多量に出て危険です。(引火・爆発)

バッテリー充電器を買う際は充電電流をよく確認して購入しましょう。

### 充電電流

充電時の電流は、そのバッテリーの容量によって決定します。

エルグランド(E51)に標準搭載されているバッテリーは、80D23Rです。

このバッテリーの容量は、55Ah(5時間率)です。

普通充電時は、この容量の1/10の電流で行いますので、5.5Aが普通充電電流となります。充電器の出力電流が5Aのものを購入しましょう。

### 充電環境

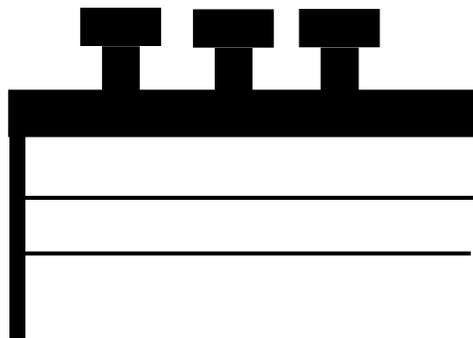
充電時は、水素ガスが発生発散されますので、換気のない狭い場所では非常に危険です。雨や砂塵の心配がない所で、近くに換気扇があればより良いです。

# バッテリーの充電

お手持ちの充電器の説明書をよく読んでから作業をしましょう。



給水栓



水素ガスの発生からバッテリー内部の圧力が上昇するので、破裂防止の観点から給水栓は必ず外します。

この時、ひと工夫

給水栓を**取れるまで緩め**そのままバッテリーの給水口に入れておきます。こうすることで、充電中の電解液飛散防止になります。

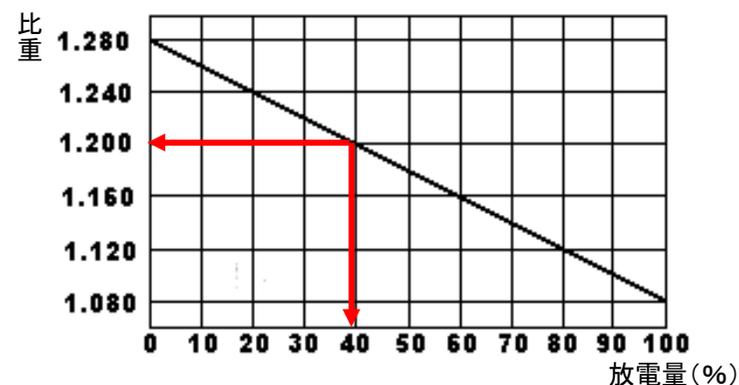
## 電解液の量を確認

充電前には必ず電解液のレベルを確認しましょう。Lowerのライン以下になっていたら、蒸留水(バッテリー補充液)をUpperラインまで補充しておきます。Upperライン以上入れてはいけません。

## 充電時間の設定

オート式の場合、充電が完了すると自動的に停止します。

タイマー式の場合、比重の状態から充電時間を算出する必要があります。



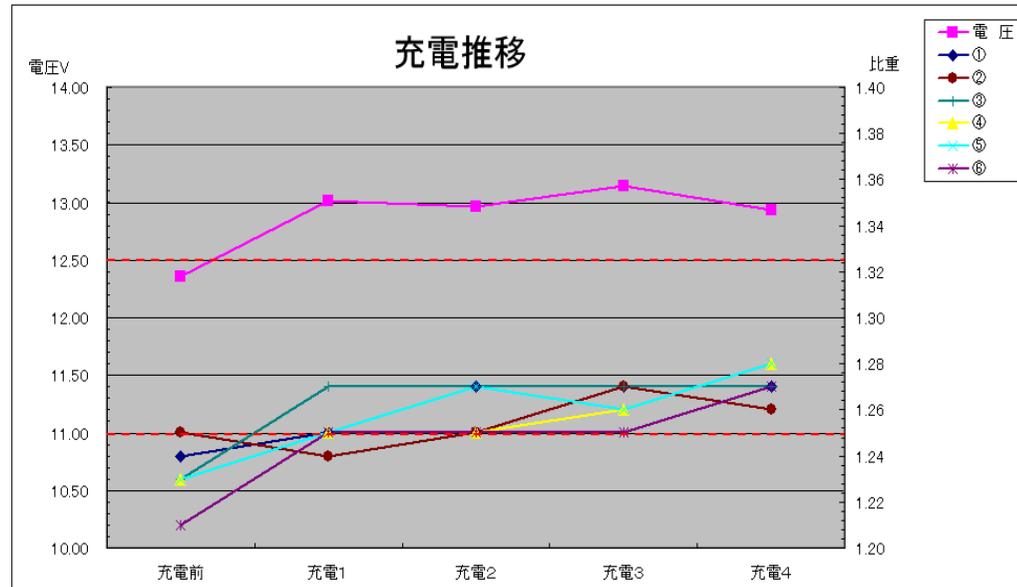
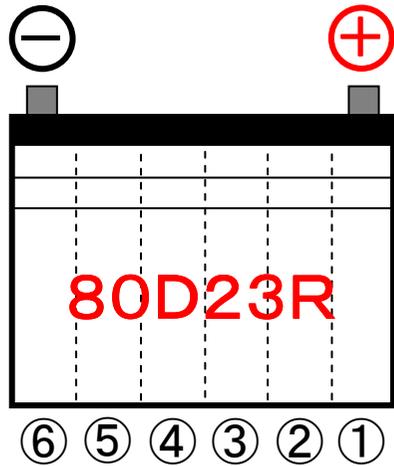
$$\text{放電量} \times 1.2 = \square$$

$$\square \div \text{充電電流}(1/10\text{値}) = \text{充電時間}$$

$$39 \times 1.2 = 46.8$$

$$46.8 \div 5A = 9.36H$$

# 充電完了



## 測定結果

端子間電圧 12.36V → 12.94V (12.5V以上)

電解液比重(1.250以上) → 電圧換算

充電前比重	→	充電後比重	→	電圧変換
① 1.24	→	1.27	→	2.11V
② 1.25	→	1.26	→	2.08V
③ 1.23	→	1.27	→	2.11V
④ 1.23	→	1.28	→	2.12V
⑤ 1.23	→	1.28	→	2.12V
⑥ 1.21	→	1.27	→	2.11V

# 充電完了

計算値よりも多く充電をしないと、満充電になりませんでした。購入後5年目、寿命かな(^^;)

# バッテリー状態早見表

- : 良好
- : 要充電
- : 即充電

